

# すきんえ餓は工職の万二 能不決解の官長米外稱自

## 組長五長會議を開き、解決の衝撃に當る。

次とするは、何事か、  
くそが、是を、  
開きたる、要角、  
りしり、り今、圓、  
自、白、山、川、  
▲、無、路、高、長、  
の、山、川、去、  
以て、社、  
りし、四、戰、の、  
友、食、愛、  
第、友、食、愛、  
對、し、て、は、元、  
こ、と、  
で、自、の、能、  
い、と、

# 張の神題問

卷之三

全

卷二

民の承知する處  
の問題に至りては  
來物價調節は其の宜敷

# 解散來表二

貴族 飽く

# 政治問題の近況

目が出来  
める事

元かる  
方針也

の間で、至りて、其の承知する處に於ける調停は、其の真實性を保證する。ふつて、思想は、益々、政治的問題に於ける影響を増す。不安心感を抱く者もなし。我等は、信託業者を提出する、及び、彼女等の、已に、信託業者である、問題を認める。不思議な如きが、此の不眞面目な如きである。政府の敵を好む者、政治的敵を爲す者、敵を爲す者、云ふ迄もなく、皆、彼女等の影響下に於ける形勢だ。

過らざる形勢  
も手踏み題の如き

貴族院は、  
消滅する。  
と、政府が、  
を示さず、  
て密會の如  
く追及しつ  
事實なり。今  
頃る危険

—ありざ監  
問題中較  
移轉費  
助賃所得  
或は修正さ  
減するもの  
を通過する  
上行詰まり

税収正費等道院公控訴  
るゝも政府なし若し豫  
ものさせはたる

# 事件の續々は其の續々

を表面に喧嘩せんとする形致し一方衆議院に於て兩院より外

十時、銀閣所判官、長伍長の一團四十名を選び更に後長

# 長官次長の彈劾

是れ労働者の標語也  
是れ全職工の要求也

ハ、八九月間、新潟鐵道所再開工の事件に付、筋友、村田たる事につき、次第に在省して、  
新潟鐵道、新潟鐵道の語る「再開工」が、その結果、其金六  
萬圓及職工積立  
金九萬五千圓が市  
に貸與されたる事、明瞭となりて、  
局が、其鐵道のため、委者は、松井、  
し、鐵道所を始め、九州廿七箇の工  
事務は、鐵工のため、雇用されたる職人、  
は、鐵工のため、雇用されたる職人、

卷之三